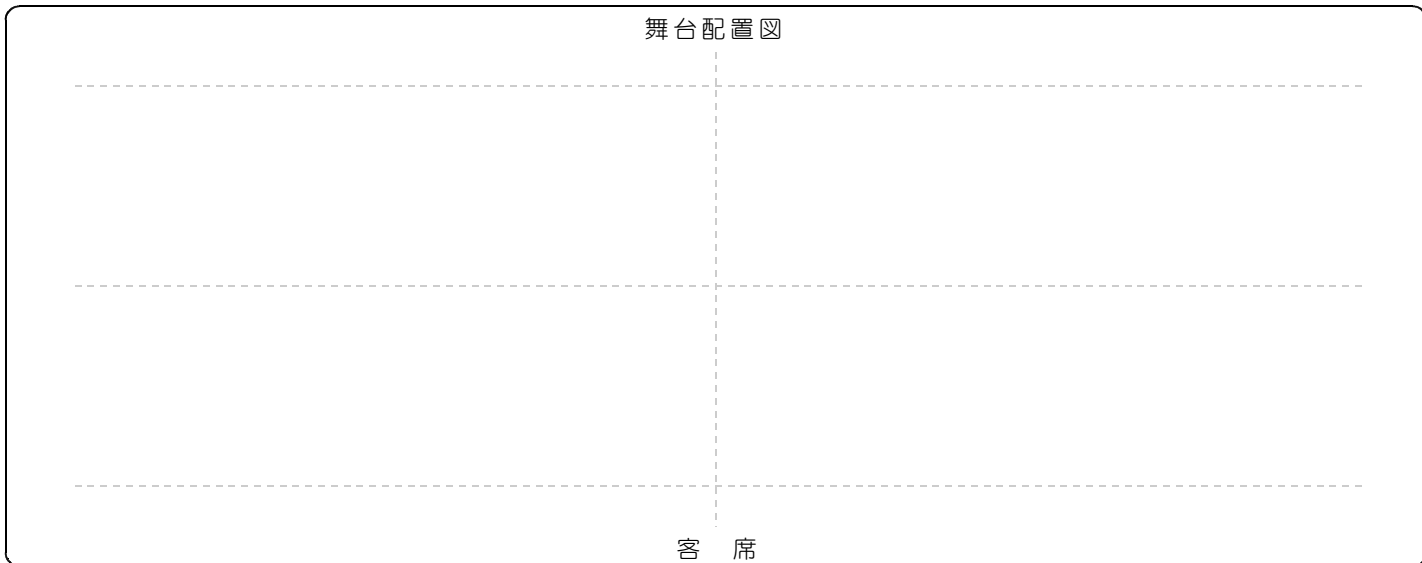


No.	春 の 如 く	演奏者数	演奏時間
-----	---------	------	------

舞台配置図



客 席

表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エター-	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44										編成：箏			尺八		
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾			
箏							E									
	C	C#	D	D#	A	D	D#	G	A	D	G	G#	A			
										C	D	G				
尺八																

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1981年 委嘱者 一 構成 箏・尺八 時間 11分 出版楽譜 無し

解説 四季のうちで“春”という名称は、他の夏、秋、冬に比較して単に季節を指すだけでなく、非常に多くの意味を持っていて、日常多用されます。例えば幸運、栄華、若さ、楽しさ、等々、また、厳しい冬の寒さから解放された喜びを象徴する明るさ、希望等を表現しようとした時、特に好んで用いられます。“春”について、そんな事を考えているうちに、今回のこの曲が、春の如き二重奏になれば… と思うようになりました。

1981年作曲。 [作曲者] 収録媒体 一